NEWS RELEASE

報道関係者各位

2026年11月19日

公益社団法人２０２７年国際園芸博覧会協会

【２０２７年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)の進捗報告およびPRを実施】第179回BIE総会

GREEN×EXPO協会（正式名称:公益社団法人２０２７年国際園芸博覧会協会、会長:筒井義信、所在地:横浜市中区）は、2026年11月17日（火）にフランス・パリにあるLe Palais des Congrès d'Issy（ル・パレ・デ・コングレ・ディシー）において第179回BIE（博覧会国際事務局）総会に参加しました。

本総会では２０２７年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の開催前最後のBIE総会の機会をとらえ、博覧会政府委員・国土交通省・農林水産省・神奈川県・横浜市と連携し、準備状況の進捗報告を行うとともに、開会に向けたPRを実施しました。



〈BIE総会開催概要〉

【総会名称】　第１７９回BIE総会
【開催日程】　2026年11月17日（火）
【開催場所】　Le Palais des Congrès d'Issy（ル・パレ・デ・コングレ・ディシー）
【開催内容】　２０２７年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の準備状況の進捗報告およびPRを国、県、市とも連携して実施

【　参考　】　＜博覧会国際事務局（BIE）・BIE第１７９回総会＞
BIEは1928年、国際博覧会条約に基づき設立された国際機関。フランス・パリに本部を置き、万博が国際博覧会条約に則り開催されるよう監督するとともに、博覧会の登録や認定などを行っている。GREEN×EXPO 2027は、国際園芸家協会（AIPH）の承認を受け、さらにBIEの認定を受けたA1クラスの国際園芸博覧会。
BIE第１７９回総会は、加盟する184の国・地域の代表団等が参加する見込み。今回の総会は、GREEN×EXPO 2027開幕を目前に控えた重要な節目の総会となる。

■挨拶・PR（敬称略）

●草間剛　国土交通大臣政務官



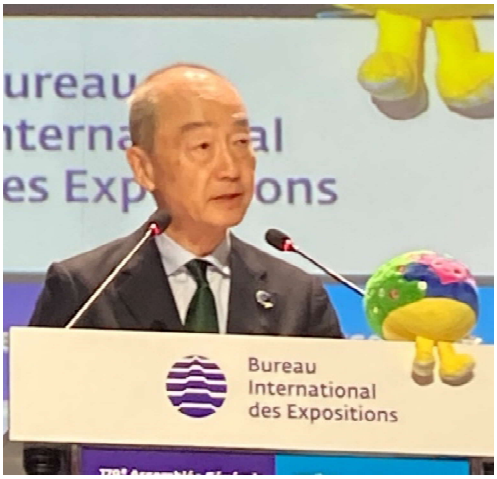
GREEN×EXPO 2027 の開催地である横浜は、自らが生まれ育ち、現在も居住するふるさとであり、また博覧会の誘致に携わってきた立場から、2027 年に世界の人々を迎えることへの喜びと期待を表明。花や緑、農や食に加え、気候変動や生物多様性などの地球環境課題をテーマとする新しい国際園芸博覧会として、日本各地の多彩な食文化や特産品の魅力を通じた農林水産物・食品の輸出促進、我が国のグリーン技術の強みを発信。関係者と連携して開催成功を目指す。

●武部新　農林水産大臣（ビデオメッセージ）



GREEN×EXPO 2027は、花き・園芸の魅力の発信はもとより、どのような自然や地球環境を将来世代に継承していくのか、我々の姿勢を示す場である。日本政府苑では、盆栽や和食などの伝統文化などを発信し、持続可能な食と農の未来像を世界に発信してまいりたい。また、各国・地域の豊かな文化や農業・園芸の知見を生かした展示を通じ、日本と各国・地域との交流を一層深める貴重な機会となることに期待。関係者と緊密に連携して開催成功にむけて準備を進める。

●新美潤　２０２７年国際園芸博覧会政府委員



GREEN×EXPO 2027は、持続可能な社会の実現に向け、世界各国の知恵や技術、多様な文化を共有し、人と自然が共生する社会の実現を目指す国際園芸博覧会。国内では民間企業や地方自治体による多数の出展が予定され、国際的には政府目標を超える国・国際機関が参加を表明。ナショナルデー等を含め、各国による多彩な文化イベントの準備が進む。特色ある展示や交流を通じた相互理解と国際協力の促進を目指し、日本政府はGREEN×EXPO協会と連携して開催成功に取り組む。

●黒岩祐治　神奈川県知事（ビデオメッセージ）



開催地の知事として、GREEN×EXPO 2027の魅力を国内外に全力で発信。今後、さらに取組を加速化していく。神奈川県は、“Vibrant INOCHI”一人ひとりの“いのちが輝く”をテーマに、庭園と展示施設が一体となった「Vibrant INOCHI Forest かながわ館」を出展するとともに、オリジナルミュージカルも上演。来場者の記憶に残る素晴らしい体験をしてもらえるよう、開幕に向けてしっかりと準備を進める。

●河村正人　公益社団法人２０２７年国際園芸博覧会協会事務総長



会場の建設が着実に進展しており、テーマ館「ねっこ」や園芸文化館「いろはにわ」など主要施設を整備中。大阪・関西万博のレガシーを継承し、資材の再利用や、誰もが活躍・参加できる包摂的な取組、運営ノウハウの活用にも取り組む。公式参加は80の国・国際機関に達し、政府目標の70を上回った。公式参加者会議の開催や各国への支援に加え、ナショナルデー等のイベント、チケット販売、公式マスコット「トゥンクトゥンク」の展開など、開幕に向けた準備を推進。2027年3月19日の開幕に向け、博覧会の成功を目指す。

●原澤敦美　横浜市長



ホストシティとして責任をもって準備を進めており、世界の皆さまをお迎えできることを楽しみにしている。横浜市は、市民約 3,000 人とともに作り上げたモニュメントや企業の環境先進技術等を紹介する「つなぐ横浜館」と、市民とともにつくる約 1 万㎡の「つなぐ横浜フィールド」を出展する。また、パレードや音楽等のイベントを通じて横浜の魅力を発信する。開催後は、博覧会のレガシーとして会場跡地を公園として整備するとともに、周辺地域では観光・農業・物流等の拠点形成を進め、環境と共生する新たなまちづくりを目指す。

本件に関するお問い合わせ先

GREEN×EXPO協会（公益社団法人２０２７年国際園芸博覧会協会）　国際部国際課（担当：中村）
Tel：045-307-2032

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名　　称	２０２７年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正式略称	GREEN×EXPO 2027（グリーンエクスポニーゼロニーナナ）
開催場所	横浜市瀬谷区・旭区（旧上瀬谷通信施設）
開催期間	2027年３月19日(金)～ 2027年９月26日(日)　192日間
テーマ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
クラス	A１(最上位）クラス(AIPH承認＋BIE認定)
有料来場者数	1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」